

「ダメモト」

シリーズ vol 7

"Dameh-Motoh"

series vol 7

"DaMeh-Motoh" in Japanese language

(=Principally,

in this world, has been almost of all trials  
never get in success is normal, natural. )"

うときゅう いっき

by Khazu san

物書き

うときゅういっき



# 目次 (Agenda)

-contents-

## ●本編掌編小説 1

(Japanese expression ver.)

「再び、ある日突然…話」

(English expression ver.)

“Again, someday, suddenly…, the story”

## ●本編掌編小説 2

(Japanese express あ ion ver.)

「ねえ（音）、ねえ（根）、ねえ…ホント言うと、ねえ（本音）…」

(English expression ver.)

“Hey, hey, hey, it's my true voice…”

## ●本編掌編小説 3

(Japanese expression ver.)

「言ってることと違つてることが、違うんじゃないの？」

(English expression ver.)

“Saying, Doing, have unmatched or not?”

## ●本編掌編小説 4

(Japanese expression ver.)

「お為ごかし」

(English expression ver.)

“Pretending to “for you”, the performance.”

●著者プロフィール(Writer's profile)

# 序

2022/8/30

## 芭蕉に倣う

On seeking for new way of little bit long Japanese “Haiku” style.



「芭蕉の俳句が手本。このコンセプトを活かし、今少しガイド的な言葉添えをした新しい表現形式が出来ないものか？」

本書はその訓練に掌編小説を原稿箋3枚内で書き表すトライアル・シリーズで御座います。

# 本編

2025/12/19

19<sup>th</sup> Dec. 25

(Japanese expression ver.)

「再び、♪ある日突然…♪話」

(English expression ver.)

“Again, ♪someday, suddenly…♪, the story”



(Japanese expression ver.)

「再び、♪ある日突然…♪話」

「是だけ不景気になると、ある日突然売り手市場が買い手市場に急変する。

坊ちゃん嬢ちゃんのワガママにヘイコラしまくっていたオジサンオバサンが積年の恨みを晴らすべく逆襲に掛かって来る。

指示待ち、泥をかぶる事から逃げまくっていたマニュアル型人間は、ほぼすべて AI に取って代わられる。

そうなっては困るから彼らは今の地位に必死にしがみ付こうとするが、最早そんな人間は何処でも必要ない訳だから、巷に失業者があふれる事になる。

ならば職場には社畜ばかりが残っているのかと言えば、むしろ給料と引き換えに社畜化していたのは放り出された方だったりする。

要するに「ぶら下がり型」の人間だ。

「不労所得」は何も金持ちの専売特許ではない様だ。こうした人間達も「仕事をしないで、給料をより多く得よう」という意味では「不労職得」者だろう。

その辺がややこしいが、見ていると実態はそのように見える。

じゃなぜ「仕事をせずに」になるかと言えば「する仕事が詰らない」からだ。

長時間労働がどうのこうの言っているが、詰らない仕事であれば「所定労働時間8時間」の内の1分だって職場になんぞ、いたくないはずだろう。面白ければ、余り残業時間なんて気にならない事の方が多い。

だから逆に言えば「如何に今の仕事が魅力的じゃない」事の逆証明をしている様なモノだ。

そんな事いくら説明しても分かって貰えないから、面倒くさくなつて会社勤めを辞めた。

自分の腕が、金看板の外でも通用するのかどうかも、試してみたかったし…」

「今の生活苦、落ちぶれの裏にはそう言うストーリーがあったのかあ、お前さんには…」

「シャチョ、個人的な見解にワテ等を巻き込まんでおくんマシ」

「どうしていつもそう言う見解になる訳？チミラは？あん？」

(*English expression ver.*)

“Again, ♫someday, suddenly…♪, the story”

“Under our society, getting turned to be recession, economical temp. down, someday suddenly, will get turned to from employed first market to employing first market, it's reasonable, I suppose.

Company staffs will start a revenge to kiddy boys and girls by whom until now company staffs got forced ass-kissing or got swung around.

Almost of all manual type guys who always wait for the direction from upper side, no act from own, always run away from judgements by own, will get replaced by AI robots.

If it above happens, it'll force them falling into trouble, so that for escaping from it, they, for own position keeping, will have done a ass-kissing to company. But as almost of all companies no need thus guys, no employ them, from it, the street, by lost job people, will get full occupied.

From above as a result in the company remaining only “company animal”, it might be not. Oppositely, rather, had gotten abandoned side, thus “company animal” type so many might be.

In other words, “hanging company” type.

“No work income”(=income no depending on work) might not be a patent of rich man, from other perspective, the guys who require “minimum working, maximum salary”, we

might can call them “non work income” guys.

It looks like complicated, but according to my observation, actual is thus, I suppose.

Well now, why will get turned to be “no work”? Because “the work is boring for them”.

They say it’s from long time work, something like that, if the job is boring one, within regular working time, min. 8 hours, even if 1 min. no want to stay in the company. If the work is interesting one, surprisingly no mind long time work.

From it, with reversed saying, it might be a opposite proof of “non interesting work”.

But any explanation had done it, they were no understandable, so that from my own side, I quitted and left away from the company.

Additionally, I wished to test my skill is useful or not out of famous company’s fence…

“Behind your money poor life, like thus hidden story you have, hey you, Darling…”

“Don Qui Hote Boss, please stop involving us with your personal proper perspective, would you Sir…Ok?”

“Why you always insisting thus? An? why?”

2025/12/22

22<sup>nd</sup> Dec. 25

(Japanese express あ ion ver.)

「ねえ（音）、ねえ（根）、ねえ…

ホント言うと、ねえ（本音）…」

(English expression ver.)

“Hey, hey, hey, it’s my true voice…”



(Japanese expression ver.)

「ねえ（音）、ねえ（根）、ねえ…ホント言うと、ねえ（本音）…」

「途轍もなく、達成までに遠くて、高い目標を掲げたら、そう直ぐには達成できないから退屈しなくて済むし、余りに遠いので結構、長生きしたりするかも等と言っておきながら、いざ取り掛かってみると余りに難題が多く、物事もうまく行かないので、いい加減。音（ね）を上げて諦めかけたが、まだ何もしていない事に気付いた。

かくのごとく、経営者の心は常に揺れ動いておる。あっちフラフラこっちふらふらが、常日頃の状態といえば、常態。

という訳で、未だ入り口にすら立っていない。何も出来ていない。

疲れている場合じゃない。諦めるのが早すぎる。根気がなさ過ぎる、と諦めかけた気持ちを思い直した訳だ。

それに、大きなヤマを動かすには何年もかかる。何年かかっても動かない事もある。

しかしいったん時流に乗って動きだせば、早いかもしれない。

時期さえ到来すれば、その時期に囁み合えば、いつ動いたのかわからないくらいのスピードで動く。

後はその時機到来までの根競べだ。

♫人事を尽くして天命を待つ♪でいう処の「天命」というのは「好機」「大機」のことだ。それを待つのを「忍耐」といい、謂われるがままに下僕化するのとは違う。それは「忍耐」ではなく「忍従」だ。

要するに「忍耐」というのは「胆力」の有無、大小だ。

問題は、何時その時期が到来するのかだが、それは誰にも分からぬのが一般的だ。

将に♪ある日突然、世界、変わるの♪そのものだ。

到来しているのに分からぬ事すらある。要するに見逃している訳だ」

「でも、お前さんが見逃す事はないと思うよ。アタイは」

「ワテもそう思いまんガナ。結構シャチヨ、目聴いから…だから、今少し頑張りまひよ。

ワテ等の給料度外視してでも…」

「あのねえ、お前、なんかその奥歯にものの挟まったような言い方、なんか根にもってるでしょう…え？ハッキリ言ったらどうなのよ。ハッキリ…」

「ハイ、じゃあ、ハッキリ言わせてもらいまっさ。此処は、不景気なのに、お客様に大盤振る舞いしちゃうもんだから、いつも大損ブッコイテ、ワテ等の給料がじえんじえん増えないまんねんの事、アリマスです！！ブータラ、プータラ、ブースカ、プースカー…」

「お客様あってのワシらじゃからな。川は上流から下流に向かって流れる事になっておるからな。物事の道理に従うしかあるマイぞよ」

(*English expression ver.*)

"Hey, hey, hey, it's my true voice..."

"Tentatively, in the case of, setting so far, so high aim, due to reaching to aim not so easily, we can escape from boring,, can live so long far more, despite of thus saying, however, not so well, so that almost giving up, but I got noticed still nothing had done it yet.

Like above, CEO` s mind always has swung like a candle flame by brewed wind. Here and there, getting exchanged, getting replaced, it` s a normal condition.

From above, still not standing on start line yet, still not have done anything yet.

It` s not a time of saying fatigue, it` s too early to give up, it` s too lacking of keeping a patience.

Like above, almost standing at the edge of giving up, to rebuild up again.

Additionally, it` ll take so many years big mountain to move. Sometimes never can get it moved, the case we have.

But once getting on the good flow of chance time, the speed might be hi-way level, might it be.

Even the chance time visiting, even matching at the chance timing, even if the big mountain quickly fast moving with as hi speed as we can` t notice.

The remained one is keeping patient of competition of waiting for vs. coming, the chance time.

Having done a human side efforts, waiting for heaven's judgement in this Japanese proverb, waiting for heaven's judgement means "lucky chance" "big chance timing", the same.

Above "lucky chance" "big chance timing", waiting for them is calling "keeping patience with own concept", it's different from "obeying boss's command without thinking, without own concept"

In other words, "power of carrying concept", having/less, big/ small.

Point is that, when the "lucky chance" "big chance timing" is visiting. But common sense shows that no one knows it.

Just someday suddenly, the world gets changed. just itself, it is.

Despite of "lucky chance" "big chance timing" already visited, while no noticing, missing it, the case we have."

"But hey you, Darling, you might have no missing, me suppose."

. "Me too, also. boss is surprisingly like a quick bird watcher, so that no missing, then a, little bit hang in here, even if our salary, passing it through..."

"Hey you, well now, your saying contains little bit ironical. In actual, in real, something sarcasm, you are holding inside or not? hey you, directly, straightly, open it!!"

"Ok, thankyou Sir!! Then a, will open it clearly!! Our restaurant, despite of bad economy condition, however, high quality discount sale style operation, so that always big loss, so that our salary no increasing. Boo, boo!!"

"Customer forward, we behind. River runs from upward to downward. We have to obey principal rule, no option..."

2025/on12/24

24<sup>th</sup> Dec. 25

(Japanese expression ver.)

「言つてることと遣つてることが、  
違うんじやないの？」

(English expression ver.)

“Saying, Doing, have unmatched or not?”



(Japanese expression ver.)

「言つてることと遣つてることが、違うんじやないの？」

「2014 年に会社を設立して以来、12 年が経つが、この 12 年の間に世の中で喧伝されている進化とはまるで反対に、目的達成までの手手続きが矢鱈と煩雑になっている様な気がする。細分化され過ぎているし、提供者側でのオートの為の入力手続きが増えるばかりで、手間ばかりかかって仕方がない。ユーザー側負担が甚だしい。

2018 年にレストラン事業を始めたので、それまで一人 3 役ぐらいだったのが一人 8 役ぐらいになった事で仕事量が増えた事もあるのは確かだが、それにしても個々の手続きが煩雑になっている。

お金がないので、人は雇えないし丸投げも出来ない。全部自分でやらなきゃならないから

一人8役とかになってしまう訳で、お金があれば税理士だの社会保険労務士だのに丸投げすれば済む。

それに、丸投げされた側は手続きが煩雑になる程、価格転嫁アイテムが増えて、実入りが増すからイイのだろうが、タダでやっているこちとらには迷惑この上ない話だ。早く片づけたいのに時間ばかりかかってなかなか本業に費やす時間が取れない。

役所や大きな企業は、デジタル化が進んで、仕事が迅速になりコストダウンも進んでいると言っているが、何のことは無い、そこでデジタル化したりコストダウンを進めたりわ寄せが全部、ユーザー側に押し付けられている気がする。

ユーザー側に付け替えてしまえば、役所や企業の見かけ上の数字には反映されなくらるからだ。

ハッキリ言って、そのセクションにおける「やってます感」や「成果誇示」だけで、ユーザーを含めた世間トータルで見れば、手間暇が却って増えている様な気がしてならない。丁度、EVで車の電気自動車化は進み、其処だけ見ればCO2削減が進んでいる様に見えるが、EV車載用のリチウムイオン電池に使うリチウム鉱山採掘で発生するCO2は逆に増え、トータルで見れば何も改善していないのに、似ている。

或いはデータセンターを作つてAIによる効率化は進むが、巨大電力消費や、冷却水の爆発により水資源が枯渇したり地盤沈下が起つたりもしているのに似ている。

特にPCなんかの問い合わせで腕のいい知識が豊富な人が給料が高いという理由で首を切られているらしく、知識の乏しい妙な担当者が出て来て、問題が何も解決しない場合が多いし、一人に訊けばすんでいた話が、今じゃ数部署に訊かないとダメだったり、マニュアルだけしか教わらないので、兎角回答を自分が知っている範囲のマニュアル内に引き込もうとする傾向が顕著で、話が丸で進まないし、時間もかかる。

こういう部署には派遣社員を宛がう企業が多いから、回答するにも一々会社側に確認を取らなくてはならないので、更に時間とやり取りの回数が増える。

それに彼らを防波堤代わりに使つてゐる正社員側は表には決して出て来ないし、派遣社員側も派遣依頼主とのトラブルを恐れて忖度する傾向にあるから増え真意が伝わらない。

それやこれやで2014年当時と同じ結果を得ようすると、その手間暇が爆発的に増えている様な気がする。、

マイナンバーカードを使えば、提出データを一か所に出すだけで、後はその部署が関係各省庁に振り分けるので手間がかなり省ける様になると真に受け、登録したものの、8年経っても一向に何も進んでいない。同じような内容のものがあちこちからきて何回も書いてゐる。

ウチなど裏金や隠し金がある訳じゃないから「こりゃ便利だ」と飛びついたが、税金の未払いを追っかけるのには適しているらしく、今では単に、こちらの要求は何も聞かない代わりに正鵠を射た督促状がやって来るだけだ。

あれは一体何だったんだ？え？税金を取るのが主目的で、それを隠す為の、単なる「お為

ごかし」のカモフラージュでしかなかったのか？え？

そんな、我が國のお上や大店（おおだな）の自己都合の為に踊らされて不便な思いを押し付けられるだったら、嘗てのアナログの凸凹の方が我々ユーザー側には、余程マシでスムースだぜ、ホンマに」

(*English expression ver.*)

“Saying, Doing, have unmatched or not?”

“From the time when I established our company in 2014, already past, time has gone 12 years, during this term of 12 years, generally getting insisted of that “convenient life” got proceeded, despite of reaching to the point of having done a purpose, and despite of it has taken so long time, oppositely, it invites so inconvenient life to us, I suppose.

Too much overspecialized for segmentation, for offering side automation, to us user side, time charge getting pushed so much. Very bothering, disturbing us.

Even though in 2018 started restaurant operating business, from it, until that time 1 person / 3 persons job to 1 person/ 8 persons job got increased, it’s other causes, but even if putting it aside, each job steps get increased.

Even though so few money stock, that company never can hire professionals, never can all whole depend on as a one set. From it, I have to work as 8 persons additionally.

And from other perspective, from the side of all whole depended on as a one set, so more complicated steps, that can get more sales amounts up, they might be happy, however, no income, free charged 8 persons job merely only for our side, it’s very troublesome one, so that we never can keep the spending time for our own original business.

In official announcement, public offices, huge scale companies said “job is getting turned to be fast running more, cost down is getting forward more”, in actual, they pushed out and pushed to us their jobs, in the fact, merely only disappeared from their list. Why they have done it so? Because for making a pose appealing, something like that, I suppose.

In the case of totally counting, job amounts is getting turned to be more, might be, I guess.

Above is just like a electric vehicle(=EV) matter, the same. EV itself makes CO2 reduced.

But for inside of EV set lion battery, mining lion making CO2 more increased, then, total CO2 amounts getting increased, the perspective there is.

Or data center matter. Sure that job performance up by AI, oppositely, bringing lacks of water for data center machine cooling or inviting ground down, electricity huge eating, like the same as above,

Especially in the case of asking, inquiring about pc machine, very skillful previous staffs

might get fired because of looks like hi salary, bater, certainly low salary but low skill strange staff coming out on to the help-desk phone, so that troubles no resolving cases so many happen, or these staffs lack flexibility and merely got lectured on manual base only, the cases so many, that they have the tendency of inviting within lectured manual answer level, so that also, above invites toss-pass catch -ball increasing, also taking more, more times, getting me irritated.

In this type section, there is a tendency of hiring part-time-job worker whom part-time-job workers company sending, so that in the case of answering, replying, one by one part-time-job workers, hired staffs have to confirm to company side regular staffs, from it, more and more need a time, toss-pass catch ball, so many times repeatedly, longer, longer, longer. Additionally, regular staffs who treating part-time-job workers as regular staffs` guarding fence, no time to come out to help desk, and as part-time-job worker side also want to escape from troubles between hiring them company, more and more our side true voice no reach to operating company core section.

Due to above total causes, as the same level service as we try to get, user side has to have done a huge efforts, I suppose.

Officer said “in the case of using this ID card (in Japan we call it My Number Card), as after your reports is caught, the caught section providing your reports to relevant each public sections, your efforts until now will get reduced dynamic.” They said, and 8years already had past, but anything no changed.

Almost the same contents, from each section sent to us, so many times reported almost the same contents to each sections. Spending very waste time for us.

Tiny scale, money poor our company no has hidden secret money, so that above ID card system offering was very lucky one and at once joined in the system, but above ID card system looks like being familiar with tracking after still not tax payment yet company, “just nice timing follow” mail sent to us despite of about our asking or requests no reply.

What was that? An? Merely only camouflage which was for to hide tax collecting, for it , “for you, first” talk show, merely only? An?

For above thus in our country, for keeping own convenience of public officers or for huge scale companies, forced us dancing, or forced us pushed inconvenient life, bater, former analog life`s inconvenience is more better rather than current our country digital system, indeed, really!!”

2025/12/27

27<sup>th</sup> Dec. 25

(Japanese expression ver.)

## 「お為ごかし」

(English expression ver.)

“Pretending to “for you”, the performance.”



(Japanese expression ver.)

### 「お為ごかし」

「2年前発売の型落ち製品でも十分に満足できることが分かった。

むしろ2年前の方が、物価高まえで、マテリアルコストも工賃も安かったから、品質上は今より上で、型落ちだから値段も安い。コスト・パフォーマンス、バッチ・グー…よ。

同じ理屈で中古住宅の方がきょう日の新築住宅より、品質が上で安く手に入り、コスパ高い可能性もある。もちろん修繕費はかかるが…

既に外国では、其処に着目して、修繕費を払ってでも、我が國の中古で質の高い良品を物色する動きが出ているそうだ。

そうであるのに、では、なんで各メーカーが新製品を出し続けるのか？

そこには隠された秘密の、「お為ごかし」で乗せマクリ・カラクリがあるのよ。

冒頭でも言ったように、2年前発売の製品でも十分なのに、此の2年間、半期に一回新製品が出され続けていた。

「新製品には新機能が盛り込まれていて買わなきゃ損。時代に取り残されちゃいますよ、アナタだけが。でも是を使えば時代の最先端を行きたい貴方にピッタリ」とかなんとか脅し、好かずようなうまいこと言って、「新商品=優れもの」の思い込み神話ベースをうまく利用しての「お為ごかし」トーク。

市場調査データーもそれを裏付けるような都合のいい処だけ切り貼りした「我田引水、手前味噌データ」を、見せられて納得。

納得はなく騙されただけ。

そんなデータ改竄していいのかよって…

じゃ何で今までして新製品を売り込むのか？

其は新技術が出てきたからでも、ユーザーの生活改善の為でもなんでもなく、ひたすら自社利益計画の為なのよ。

どういうことかと言えば、

旧機種の陳腐化やお客様の値引き依頼、あと、お店側の（メーカー（=仕入先）から、毎度のことながら、販促、対策費もついている事だし）「売らんかな」の販売方針なんかで値下がりをする前に、メーカー側は新製品を投入して価格維持を図り、利益計画を遂行する為なのよ、ね。俺の体験上。

早い話が「俺も其の片棒担いでいた訳。商品企画担当時代に…」

「やっぱお前さんて、悪党なんだあ…」

「ねえさん、此の世は奇麗ごとばかりでは済まされまへんで。男はやっぱし、多少、悪党で、ドスケベじゃないと物の役に立ち間へんガナ…」

「オイ、ネバ助、偶にはいいこと言うじゃないのよ、お前も…」

Wow,

(*English expression ver.*)

“Pretending to “for you”, the performance.”

“2 years ago released product was enough satisfied for my use.

2 years ago released product is more hi cost-performance rather than current brand-new product because material cost low before inflation, function enough, quality hi, retail price is very low, so that it's very good one for us customers!!

Because of above the same reason, we can say that second hand, used house is better rather than new product house, the possibility we have. Certainly repairing house costs us…

Already abroad buyers noticing at it, even if spending repairing cost, former made in Japan, the used one collecting, the tendency is obvious some media said.

Despite of so, why does each makers continue to release new products?  
Inside it stays hidden secret trick of “for you” there.  
Like a, at the start of my speech had said, “2 years ago released product was enough satisfied for my use”, however, during this 2 years term, each year twice, each half year term once, new products released continuously.

“new product contains several useful new functions, when missing it, it’s very big loss for you, only you gets missed. But if you accept it, you can keep top runner of this era, bravo!!”  
Like thus, or threatening, pulling down, or pumping up, lifting up, “New products=more superior, more functional, more grade up one”, by using these fixed, stamped thoughts of general people, they have done a “for you” position talk.

Market research data also is patchworked by for them convenience one, customers get shown, customers get agreed.

But it’s not agreement, but merely only get faked.

Is it allowed, acceptable to rewrite, remake, edit data or not?

Then a, why they push sales new products so faky?

Because it’s not by new technology coming out, not by customer living life getting well, but by merely only reaching to own company’s target profit plan.

More concretely will explain,

Before actual sales price down of current model, for keeping actual sales price, for reaching to target profit plan, they release new model, the cause only. From my past experience…

In former company, as a product planning staff, I had done a above the same behavior, so that I know it”

“Wow, you are just the faker, hey you, Darling!!”

“madam Poholo Sir, in this world is not angel word, but a devil world. so that a man has to be little bit gang or pervert guy, must be, madam!!”

“Hey, Nepali, you sometimes say nice opinion, An?”

著者プロフィール) Writer's profile.

うときゅう いっき (writer's name utokyu ikki or Khazu san)

本名 宇都宮一貴 (うつのみや かずたか)

1953 年東京生まれ (was born in 1953 in Japan.)

早稲田大学第 1 文学部露文学科を 2 回留年の後、卒業。

国内電機メーカー家電製品商品企画部に 20 年間勤務。同子会社経理部等に 16 年間勤務。

40 歳から 52 歳まで 12 年間うつ病を罹患。

左遷、リストラ、降格、離婚、家族崩壊等を経験。

定年後、株式会社 うと Q を設立 (After retirement from Toshiba, established, "utokyu corporation" in 2014)

現在主業はネパールカリー屋。(Now main business Nepali curry restaurant, "Namaste everybody" owner)

趣味は観察すること、考えること、書くこと、盗撮はしないスマホ・カメラの四つの k。

著者名は苗字、宇都宮一貴の音読みで、中学校時代の仇名。

宇宙の「う」

東京都の「と」

宮殿の「きゅう」

数字の「いち」を詰まり音便で「いっ」

貴族の「き」

で、うときゅういっき となります。

漢字表記にしますと、かなり御大層な人物に見え、実態に全くそぐっておりませんので、

誤解を招かぬよう音読みひらがなで表記しております。

ホームページ : <http://utokyu.co.jp>

(出版情報)

著 者 うときゅういっき

発行人 宇都宮一貴

発行所：株式会社 うと Q ナマステ別館堂出版部

〒215-0018

神奈川県川崎市麻生区王禅寺東 5 丁目 3 4 番 7 号

電話 (phone) : 044 - 989 - 1698

発 売 株式会社 うと Q ナマステ別館堂出版部

編 輯 「ナマステ別館堂出版部」

カバーデザイン & DTP 製作 当面の間「ナマステ別館堂出版部」及び「ナレッジフォレスト 大竹鉄哉」

©Kazutaka Utsunomiya uploaded in Japan from 2020

発行日：2025/12/27 日初版発行 (27<sup>th</sup> Dec. 25 released.)

本書の一部または全部について、著作権上、著作権者の承認を得ずに、無断で複写、  
複製することは禁じられています。All copy rights reserved.

(その他著書)

●多数

●尚、掲載写真は全て google 画像サイトの著作権フリーのものをダウンロードして使用し  
ております。当社には著作権、版権は全くない事を明記させて戴きます。